

資料 10



平成12年12月26日作成

(株)ジャパンメンテナンス

ジャパン・カウントダウン2001

第2章 各会場別警備実施計画書

第1節 大蔵海岸会場編

第1 警備期間

- ・事前警備 2000年12月24日 08:00～ 2000年12月31日 17:00
- ・本番警備 2000年12月31日 17:00～ 2001年01月01日 02:00
- ・事後警備 2001年01月01日 02:00～ 2001年01月02日 21:00

第2 会場

明石市：大蔵海岸

第1章 第1節 イベント概要 第5 開催場所参照

第3 会場までのアクセス

JR朝霧駅及び山陽電鉄大蔵谷駅

国道2号線及び国道28号線

第4 予想観客数

主催者発表 25,000人

第1章 第2節 警備基本編 第3 警備情勢及び問題点 大蔵海岸会場参照

第5 来場者導線

JR朝霧駅からの導線については、朝霧歩道橋を使用し会場へ誘導する1次導線を設定する。また、当該歩道橋の混雑状況により、朝霧駅（北側）から西方面（2次導線）へ誘導しバイパスへの案内広報とする。

山陽電鉄大蔵谷駅からの導線については、JR線地下道アンダーパスを通過し国道2号線を東進、朝霧橋を渡し朝霧川堤防沿いから会場方面への導線にて案内誘導を実施する。

【別添12：大蔵海岸来場者（歩行者）導線図 参照】

【別添13：大蔵海岸退場者（歩行者）導線図 参照】

第6 警備上の問題点及び留意事項

【別添3 自主警備に関する問題点とその対策一覧】のとおり。

ジャパン・カウントダウン2001

第 7 会場警備区分

警備エリアが広域に及ぶ為、5警備区に分割し業務の遂行に当たる。

【別添14：大蔵海岸警備区分図 参照】

第 8 警備員配置及び警備ポイントの指定

大蔵海岸会場における警備員配置は、【別添15：大蔵海岸警備員配置図】のとおりであり、また同図に示すとおり、配置箇所を中心としてポイント名称を定める。

第 9 配置箇所別任務内容

【別添16：ポイント番号別基本業務内容】のとおり。

第10 警備連絡調整体制

【別添17：大蔵海岸自主警備連絡・調整体制図】のとおり。

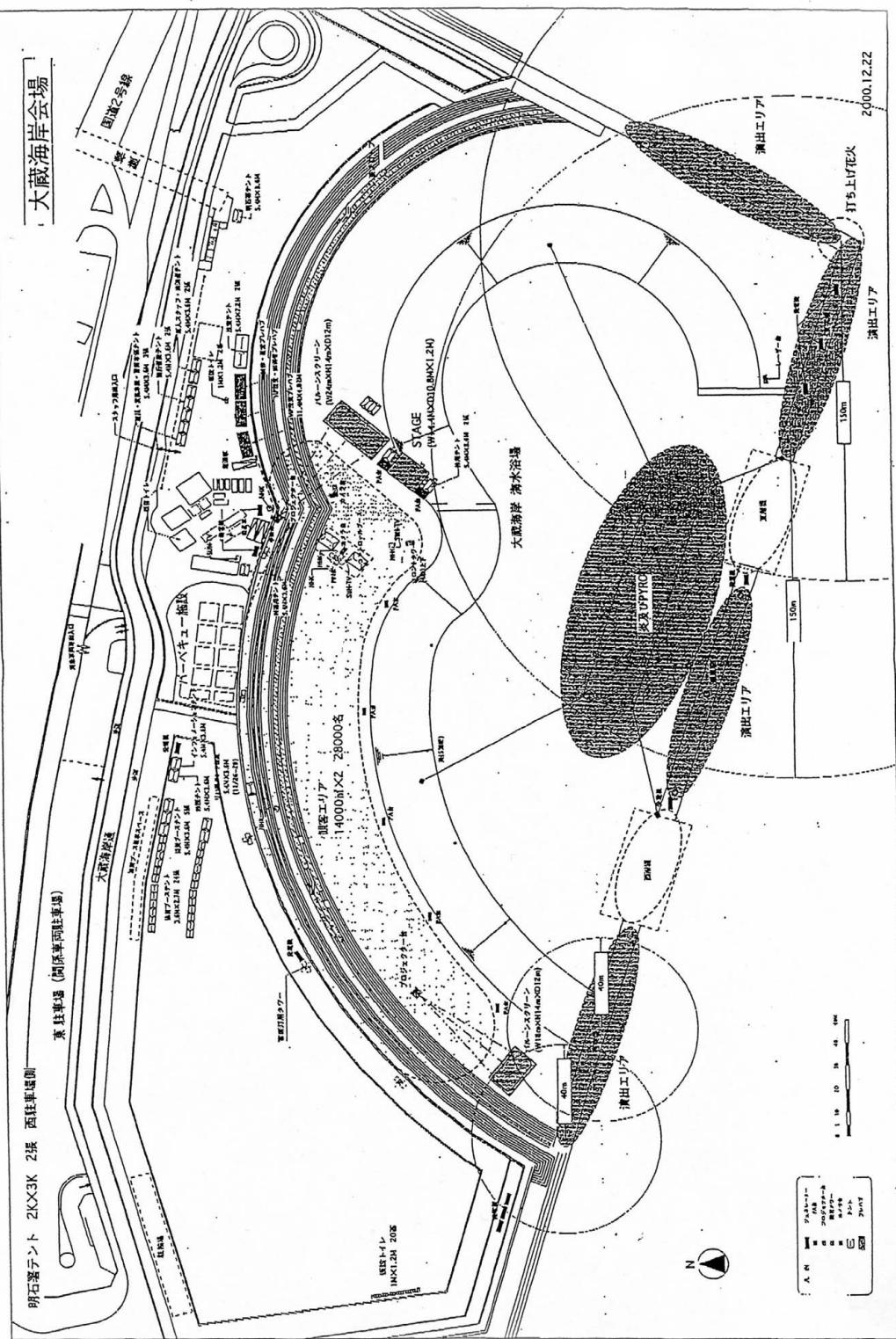
第11 突発事案発生時の対応要領

会場内の雜踏警備及び交通誘導警備等に関連し、様々な緊急事案対応が予想されるが、これらの対応要領は、【第1章・第3節 各種事案対応要領】のとおり。

第12 その他

環 境

- ・寒風吹ふきすさむ中での海岸線を利用したイベント開催であり、遊撃隊の乱線巡回を中心とした焚き火等による火災予防及び海中への転落防止を主体とした警戒体制で望む。
- ・深夜に及ぶイベントであり、交通アクセス等もかなり限定される為、不法駐車や交通渋滞及び付近住民への影響がかなり大きな問題を含んでいる関係上、速やかなる対応が必要である。



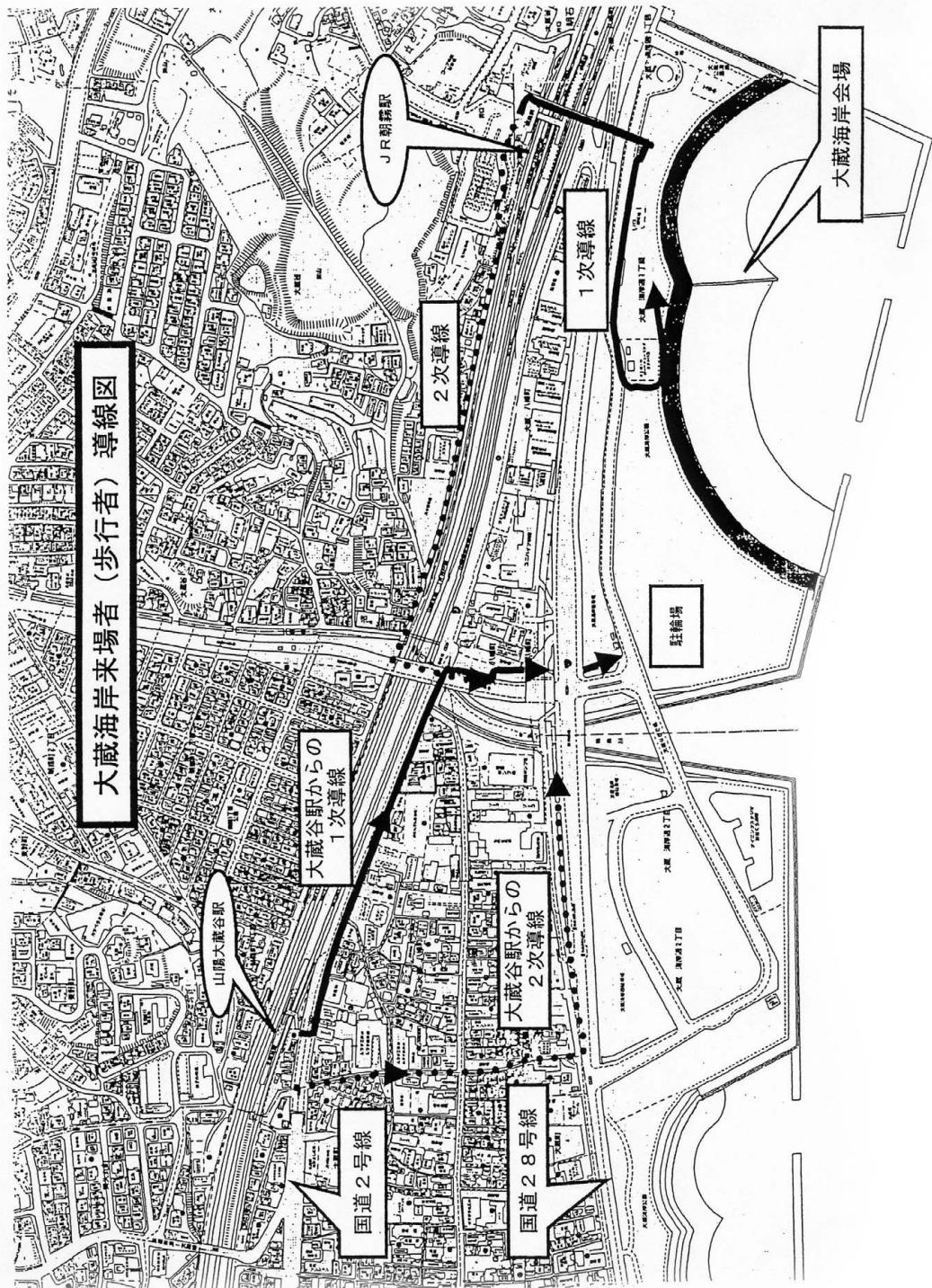
[S C A P]

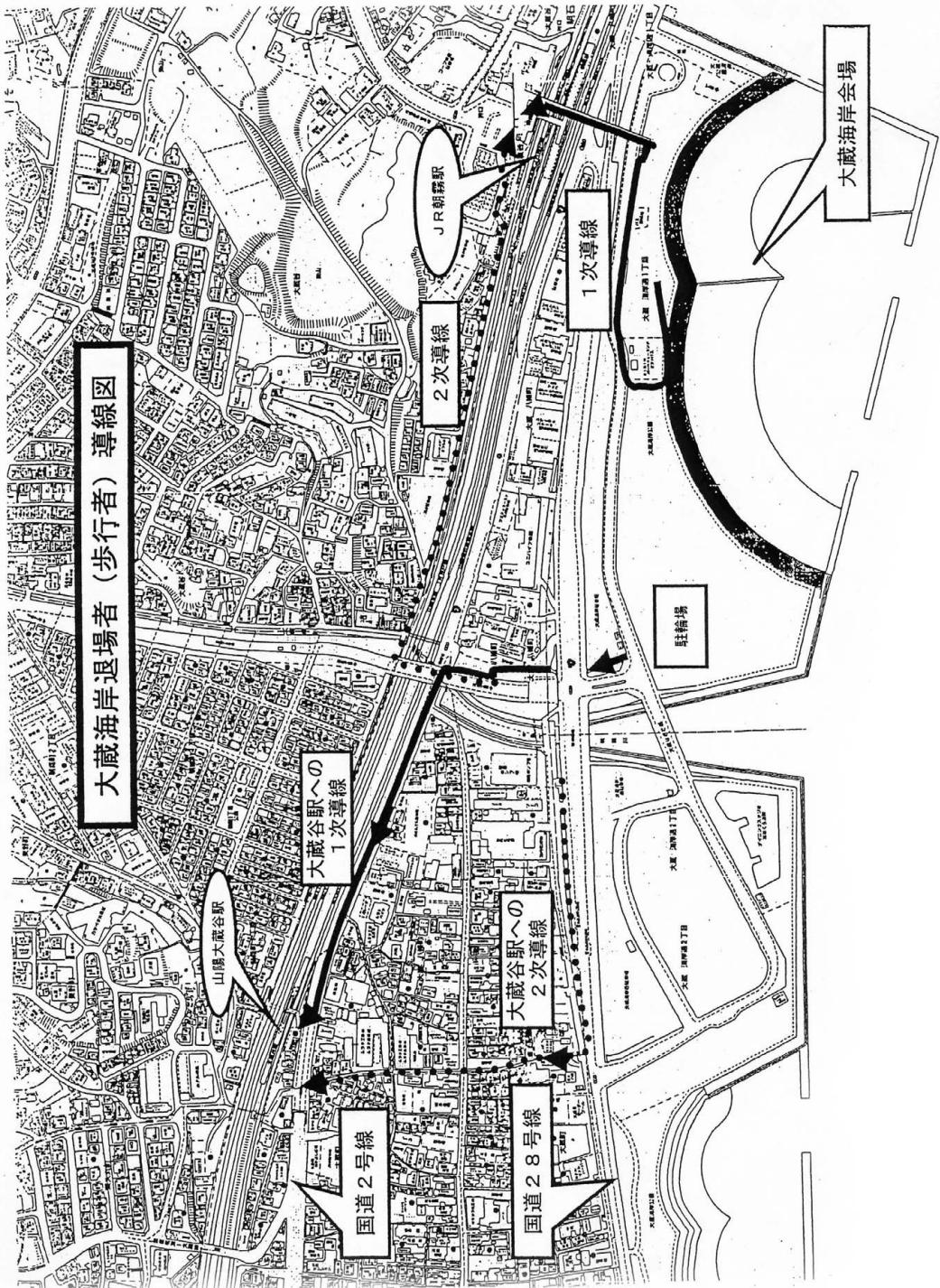
(脚注バシメンテナンス)

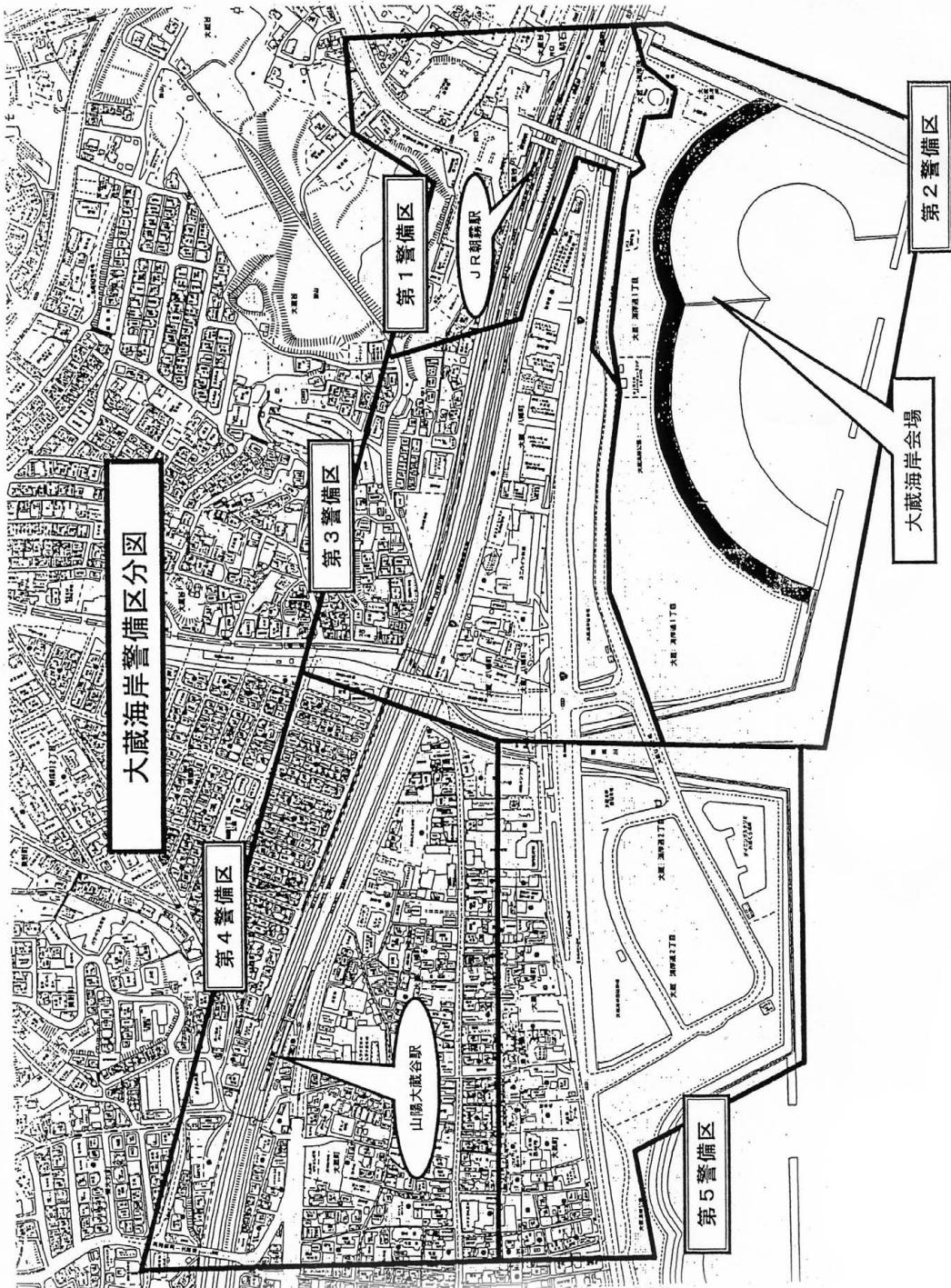
明石海峡大橋世纪超えイベント（大蔵海岸）自主警備に関する問題点とその対策一覧

診断箇所	現状並びに運用（特性）	問題点	対策
1. 交通誘導警備対策			
(1) 国道2号線	<ul style="list-style-type: none"> 歩道幅員 1.5m 横断歩道 東側幅員 2m 西側幅員 3.8m 信号機（押しボタン式） 	<ul style="list-style-type: none"> 車道へ歩行者が溢れることによる交通事故及び接触事故が予想される。 	<ul style="list-style-type: none"> 信号遵守の広報による事故防止。 警察官の協力要請及び、信号サイクルの変換要請。 カラーコーン等資器材による、歩車道の境界線設置による一寸駐車の阻止
(2) 国道28号線	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞発生時、やみくもに横断する特特に若年層への警戒。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の危険性が認められる。 	<ul style="list-style-type: none"> トラスガ等資器材を活用し、横断歩道へ案内誘導を実施し交通事故防止に努める。 カラーコーン等資器材による、歩車道の境界線設置による一寸駐車の阻止
(3) 国道2号線と28号線との分岐点	<ul style="list-style-type: none"> 大阪海岸駐車場の収容台数 一般 400台 スタッフ要 200台 大蔵西駐車場の南側にて更地の存在。 	<ul style="list-style-type: none"> 国道2号線から28号線への交差点が渋滞する。 駐車場への案内看板の設置が必要である。 近隣駐車場への案内広報活動。 主催者発表の観客から逆算すると2,500台分の収容台数が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 警備員5名を配備し、渋車看板及び広報にて渋滞の緩和に努め、交通事故防止に努める。 国道2号線西行きの車両に対し、明石市役所にし側展望広場（収容数90台）の駐車場へ案内広報を実施する。 国道2号線東行きの車両に対しては、舞子方面への一般駐車場の案内を実施する市役所の許可及び照明設備とうの必要性。（明石市役所への確認）
(4) 大蔵海岸中央交差点	<ul style="list-style-type: none"> 28号線西行き及び東行きの迷走車両が発生する。 	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞の原因となる。 導線案内看板等の不備が認められる。 大蔵谷及び自転車にての来場者について接触事故等の発生が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央交差点を含む東側通路の、歩行者天国のお願い（明石警察署） カラーコーン等資器材による、歩車道の境界線設置による一寸駐車の阻止
(5) 沿道の店舗用駐車場について	<ul style="list-style-type: none"> 車両による通り抜けと通り抜けが可能と誤解しての進入。 店主とのトラブル。 	<ul style="list-style-type: none"> 国道28号線沿線による迷惑駐車。 	<p>『駆から会場までの導線対策』</p> <p>※ 歩道幅員が1.5mと比較的狭い箇所が多く、車道へ溢れる等の危険性が予想されるため交通誘導員にて交通事故の防止を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特にファミリーレストランの駐車場から入退出する可能性が高いため、入口に警備員を配置し通り抜け出来ない旨の案内を実施する。 側面巡回にて非餘に努めるとともに渋滞緩和の対応を実施する。

診断箇所	現状並びに運用(特性)	問題点	対策												
2. 駐輪警備対策															
(1) J R 朝霧駅とその付近	<ul style="list-style-type: none"> 駅から海岸へ向け幅員 6m・全長約 100m のアーケード型歩道橋が構築されている。(海側階段数 47段 密度 3で約 1,800 人滞留。) 自転車及び歩行者にての来場者対応。 駅前にバス回転用ロータリーがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 階段 (7段) が設置されていることから、雜踏事故が予想される。 イベント終了時刻が決まっているため、改札口の混雑が予想される。(00:00 以後 30 分毎に 1 本の倍) 朝霧歩道橋での滞留が多い。 電車の便が少ないため、改札口前、入場制限の予想。 	<p>『各駅付近の基本対策』</p> <p>※ 主要駅付近において固定配置及び巡回の警備員を適宜配置し 15,000 人の予想利用客に対する、朝霧歩道橋及び階段昇降時における警備体制の強化の実施に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 警備員 3 ポスト、整理員 2 ポストにて足元注意広報を実施し雜踏事故防止に努める。 混雑が予想されるため、帰りの切符購入の客内を要請し、混雑を緩和する。 駅前ローダリー付近の迷惑駐車及び駐輪の広報を実施する。 電車の便が少ないため、改札口前、入場制限の予想。 												
	<table border="1"> <tr> <td>券売機数</td><td>4</td></tr> <tr> <td>改札口</td><td>5 (身障者用 1)</td></tr> <tr> <td>最終電車</td><td></td></tr> <tr> <td>増便の有無</td><td>有・30 分毎</td></tr> <tr> <td>駅前広場</td><td>380 m²</td></tr> <tr> <td>密度</td><td>3 で約 1,000 人滞留</td></tr> </table>	券売機数	4	改札口	5 (身障者用 1)	最終電車		増便の有無	有・30 分毎	駅前広場	380 m ²	密度	3 で約 1,000 人滞留		
券売機数	4														
改札口	5 (身障者用 1)														
最終電車															
増便の有無	有・30 分毎														
駅前広場	380 m ²														
密度	3 で約 1,000 人滞留														
(2) J R 朝霧駅から大阪海岸までの導線 朝霧歩道橋(アーケード型)	<p>大阪海岸側に設置してあるエレベーター使用が自由に誰でも使用出来る状態にある。</p>	<p>順番待ち及び身障者に対する配慮の必要性がある。</p>	<p>『導線障害の基本対策』</p> <p>※ 国道沿線上の歩道及び、アーケード歩道、階段等の各導線上に警備員を適宜配置し、広報及び協力要請等により導線確保を実施するとともに、交通事故、接触事故、転落事故を防止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健常者には階段使用の案内を実施し、身障者・老人等社会的弱者を優先使用とする。 												
(3) 山陽電鉄東側アンダーパス (跨道トンネル) 、バス (跨道トンネル) (2 次導線)	<ul style="list-style-type: none"> アンダーパス内の段差による陥落等が予想される。 車両の不備 	<ul style="list-style-type: none"> 固定配置員にて警戒を実施し、事故防止にあたる。 階段下に段差が認められたので注意広報が必要である。 													
(4) 山陽電鉄大阪谷町とそ の付近	<ul style="list-style-type: none"> 案内及び看板による導線の欠如。 券売機 2 改札口 1 人 最終電車 1 出 増便の有無 考慮 (要・条件) 駅前広場 36 m² (終日無人駅) 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の車道へのはみ出しが予想され、接触事故の可能性が高い。 無理な横断による事故の危険性。 	<ul style="list-style-type: none"> 警備員 2 ポスト、整理員 2 ポストを配置し、無理な横断の禁止及び先頭車両の停止後の横断広報案内を実施し事故防止に努める。 大阪海岸入口、28 号線下にある歩行者アンダーパスへの誘導。 												

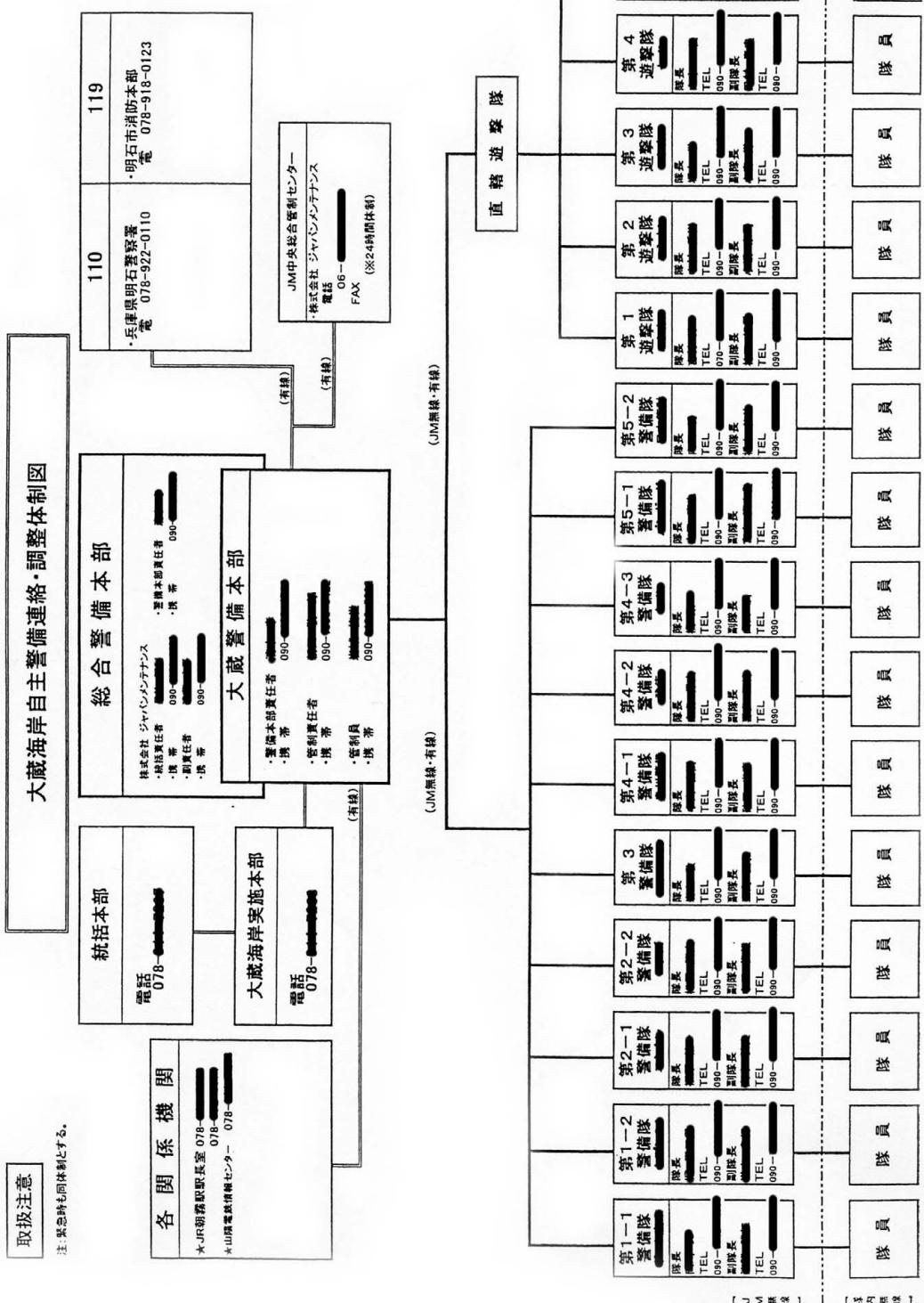






大蔵海岸自主警備連絡・調整体制図

主：緊急時も同体制とする。



別添19